

実技協・実験動物福祉部主催

～松山大会イベントのお知らせ～

## 『グループワークの実践』 動物実験をどう伝えるか？

開催日時：令和元年 10月 26日(土) 13:00～15:00

開催場所：松山コミュニティセンター2階 展示室2『Well-beingひろば』

司会進行：実験動物福祉部員 中野洋子(アステラス製薬株)

実験動物福祉部では本年の松山大会において、2017年山形大会のシンポジウムで打越綾子先生よりご講演いただいた「一般市民は動物実験をどうみているか」のアンケート結果を基に、私たち技術者が動物実験を一般市民の方々にどのように伝えていくのか？をグループワークを通じて共に考えるイベントを開催いたします。このグループワークは、昨年アステラス製薬(株)焼津事業場動物実験委員会において動物福祉のフォローアップ教育として動物実験に関わる方々を対象に実施された内容を実際に体験してみようという試みでもあります。

動物実験に関わる技術者や研究者が、まだまだ自身の仕事を周囲の人にも話せないという葛藤を持っている現状があります。一方で、US や EU では動物実験の詳細な方法やその実施によって得られた科学的な貢献について、一般の方々に正しく知らせる活動が大きく拡がっています。

色々な機関からの参加者が集まって話し合う中で、一般の方々に動物実験について伝えるための新たなアイデアが生まれるかもしれません。是非、多数の皆さんからの応募をお待ちしております。

募集人員： 最大 50 名(先着)

まだまだ余裕があります。お誘い合わせの上ご参加下さい。

募集人数が超過した場合には、多少の調整をさせていただくことがございます。

参加資格： ①～③の全てを満たす方

①実技協松山大会に事前参加登録完了されている方

②事前学習を確実に実施して参加できる方

③当日必ず参加できる方

募集開始： 2019年8月13日(火)～

応募方法： e-mail にて以下を記載下さい(代理送信可)。

氏名、所属、連絡先(アドレス、TEL)ならびに事前参加登録が確認できる PDF を添付下さい。

応募先： [aokamoto@iexas.med.osaka-u.ac.jp](mailto:aokamoto@iexas.med.osaka-u.ac.jp)

(実験動物福祉部長・岡本 明 宛)

参加決定連絡：決定者に福祉部長よりその旨連絡を行う。

**実技協・実験動物福祉部主催～松山大会イベントのお知らせ～**  
**『グループワークの実践』 動物実験をどう伝えるか？**

<ご質問へのご回答－1> 2019.8.20

Q. 興味はあるけど、難しそうで、私でも参加できますか？

A. 興味があれば大丈夫です。今回のグループワークは、2017年山形大会でのシンポジウム「一般市民は動物実験をどうみているか」のアンケート結果を参加者の皆さんができるか？から話を始めます。つまり、参加者の皆さんは、一度、このアンケートにご自身で回答していただくことさえできれば、参加可能です。

Q. 事前学習には何をすればよいのでしょうか？

A. こちらから、参加者のみなさんに、2017年山形大会でのシンポジウム「一般市民は動物実験をどうみているか」のアンケート結果の抜粋版の資料をお送りします。この結果と自分の回答を比較して、自分と一般市民の方たちの意見の違いや同じところを見つけておいてください。そして、なぜ違いが生まれているのか、あるいは同じ意見なのか、について考えてきて下さい。

Q. 動物実験をどう伝えるか？なんて、だいそれていてとても考えられません。

A. それこそ、一人では考えきれませんね。だから、色々な立場の方々と一緒に考えを深めていける場を持ちたいと考え、今回のイベントの場を設定させて頂きました。

Q. 自分の意見なんて話せないような気がします。

A. グループでは、まとまった話をしていただく必要はありません。このワークでの正解もありません。皆さんの感じた事や思った事をグループワークの中で不器用な表現でも良いので発信頂ければと思います。きっと貴方が想像しているよりもフランクな場です。そこでの忌憚のない意見交換が、貴方なりにこれからどうしたら伝えていけるのか？の「鍵」にはなるのかもしれません。

Q. オブザーバー参加は可能でしょうか？

A. グループワークは見学していただくものではないので、是非参加してご自身の意見を述べたり、色々な立場の方々の意見を直にお聞きいただければと思います。